南町一丁目だより

発行日	平成23年12月15日
発行者	南町一丁目自治会
編集者	広報編集委員会
電　話	221-2728（谷中）

第１６号

自治会長挨拶

去る１０月８日（土）、９日（日）の両日に亘り、南町一丁目祭りに際し町内皆様のご協力により盛大に行なうことが出来ました。厚く御礼申し上げます。今年は開催前日に強風により準備したテント２張りが飛ばされましたが、被害もなく無事終了することが出来ました。

また、新規に「組別対抗三世代交流グラウンドゴルフ大会」を１１月２０日に河川敷公園で行なうように計画しましたところ、町内の方々、育成会員、子供達併せて約６０名の参加を頂き、盛大に一日楽しく行なうことが出来ました。重ねて感謝申し上げます。

今年も上半期が過ぎましたが、自治会やそれぞれの組織の活動計画がありますので、ご協力頂きますよう御願いいたします。

（自治会長　田島 健司）

南町一丁目祭り

１０月８日(土)、９日(日)の南町一丁目祭りは２日間とも秋晴れに恵まれ盛大に開催することができました。９月１２日からピーヒョロの笛の音、テケツクの太鼓の音とともに今年も祭りの練習が始まりました。子どもたちが一生懸命練習し日々上達していく姿、低学年生が楽しそうに太鼓をたたく姿が印象に残っています。祭り当日も山車に乗って太鼓をたたくことが楽しみのようで低学年生から「おじちゃん、まだ太鼓たたいてないの。早くたたかせて」と言われる度に「順番が来るまで待っててね」と答えるのが大変でした。今年は１日目、２日目とも予定通り街中でのパレードに参加することができ、子ども達が練習の成果を存分に発揮して祭りを楽しめたことが何よりうれしく思います。また、６年生は今年で最後の祭りですが、自信にあふれ太鼓をたたいている姿がとても大きく感じました。

毎年この南町一丁目祭りが終わると急に元の生活に戻りほっとしますが、笛・太鼓の音が聞こえないと寂しく感じます。最後に役員の方々や参加者の協力のもと無事に終了できたことに感謝し、子ども達にとって南町一丁目祭りがいつまでも良い思い出として残るようにこれからも努力していきたいと思います。　（実行委員長／成年会会長　金古 義彦）

育成会長、母、転勤族

２日目、お祭り広場に戻った山車から聞こえた上りの掛け声に、胸がジーンとしました。

育成会入会から３年目の今年は、育成会長としてお祭りに参加しました。あまりにも大きな行事なので、見えないものへの不安が押し掛かり、途方に暮れていましたが、この町の歴史や伝統を知らない私の質問攻めにも懲りずにお付き合いいただきました自治会、成年会、育成会の皆様に心から感謝いたします。それから、６年生と２年生の子供達の母としては、兄弟お囃子共演を見ることが出来、良い想い出となりました。３年前は横笛の練習に挫けた長男も、今年は何故だか最初から良い音が出て上機嫌。自分の演奏だけで精一杯だった３年前に比べて、今年は横に座る友達と合わせることも気に掛けるようになりました。本当に素晴しい演奏だったと思います。昨年、南町一丁目初、１年生の太鼓での出陣をさせていただいた次男は、今年も兄に負けるなとばかりに必死に練習していました。最後に転勤族としての感想。最初はただただ驚きでした。町内の男の人達が、小学生に笛や太鼓を教え、町内の方々でテントを張り、山車を磨き飾り、育成会のお母さん達がキャベツを切り、大量の汁物を作り、模擬店を運営し、公道ををを止めて山車が市街地へと繰り出す。このようなことは、今までは見ている側の出来事で、自分が携わることになるとは思いもしませんでした。しかし、やってみると楽しい！　練習も準備も当日も片付けも、楽しいの一言につきます。この伝統を是非末永く伝承して欲しいと願っています。

３年前にも同じことを書きましたが、ここでもう一度。縁あってこの町に住むことになり、このような貴重な経験が出来ることに、町内の方々に親子共々育てていただいていることに、そして息子達の友達、私の大切な仲間達の優しさに、心から感謝。　（育成会会長　中村 美智子）

南町一丁目祭りに参加して

昨年七月に南町一丁目の住人となり、お祭りに参加させて頂くのは、今年で二回目となりました。昨年は、初めての参加で戸惑う面もありましたが、少しずつ街に慣れてきたということもあり、今年は、家族共々、昨年以上に楽しませて頂きました。

私にとっては、昨年がウン十年振りとなるお祭りへの参加でしたが、こちらでは子供の頃に参加したものとは比べものにならないほど本格的に取り組まれており、町内の皆様のおまつりへの強い思いを感じました。子供たちが練習を積み重ね、お囃子を奏でながら町中を練り歩く様子はたいへん勇ましく、また、山車を引く子供たちの笑顔は見ていても微笑ましく感じられました。また、昨年、初めて食べて虜になった「焼きまんじゅう」は、今年もとても美味しく、有り難く戴きました。反面、今年は、五年生の娘がマーチングに参加するということでカメラ片手に町中を走り回ったことや山車の綱を先頭で引かせて頂いたということもあり、日頃の運動不足と加齢により翌日の筋肉痛が昨年以上であったことが玉にきずではありましたが・・・。

何にしましても、お天気にも恵まれた今年のお祭りを私自身とても楽しませて頂きましたし、子供達にとっても、たいへん良い思い出になったことと思います。子供達のためにも、このお祭りが末永く続いていくことを願っています。最後になりましたが、お忙しい中、子供たちの指導にあたって頂いた成年会の方々をはじめ、お祭りを企画・運営して下さった町内会の皆様方に御礼申し上げまして、お祭りの感想とさせて頂きます。　（育成会５年生保護者　安部 純一）

お祭りと子供達の成長

今年の前橋祭りは、両日共に素晴らしい秋晴れとなり、その日を無事に迎えられた事を幸せに思います。前橋祭り、南町一丁目祭りに参加させていただくようになって、今年で四年目となります。四年生と三年生のうちの姉妹は、自分から積極的に何かをするタイプの性格ではないのですが、お祭りは大好きなので、お囃子の練習には出来るだけ参加していました。練習後、姉妹で「ああしたほうがいい。こうしたほうがいいよ！」など、話し合っている姿が見られ、昨年度よりは成長したのかな？、と思いました。

お祭りから子供達は多くの事を学ばせて頂いていると思います。努力する事、我慢する事、協力し合う事など、考えれば、沢山の良い事を吸収出来ます。努力した事で自信を持ち、大きく成長出来ると思います。それは、立川町通りでのお囃子の競演で確信しました。子供達の堂々とし、息の合った演奏、バチさばき、皆、真剣な顔で凛々しい姿に驚き、感動しました。昨年より、確実に成長していると思いました。子供達自身の努力もありますが、自治会や成年会、保護者皆様のご指導、ご協力があった上での事だと思います。お世話になった事、本当に感謝いたします。今後も素晴らしいお祭りが続く事を願います。毎年、子供達の成長した姿が見られる事を願って。

（育成会３・４年生保護者　荒川 美佳）

南町一丁目祭りに参加して

私は今回初めてお祭りに参加させていただきました。まず９月の始めより太鼓の練習が始まりました。夜の練習ということもあり、一ヶ月間は慌ただしい日々が続きましたが、とても充実した日々を過ごすことができたと思います。

お祭り当日は両日とも晴天の中、行われました。朝早くから多くの方々が準備に来られていて頭の下がる思いでした。子供達一人一人の顔にお化粧をし、立派な山車を見ると、これからお祭りが始まるんだと気分が高揚してきました。いつも歩き慣れた町内も山車を引いて歩くと、また違った風景に見えました。お祭りムードで賑わう街中では、より一層気分も盛り上がりました。一ヶ月間の我が息子の太鼓の練習の成果はさておき、かつて父と母がしたことのないような貴重な経験をしていることが羨ましくもあり、チャレンジさせて本当によかったと思いました。

今回は初めてで戸惑いの中での参加でしたが、来年はもう少しお役に立てたらと思います。最後になりましたが南町一丁目の地域の方々のご協力の下でとても素晴らしいお祭りに参加させていただけて感謝しております。この地に移り住み三年目となりますが、改めて住んでよかったと感じました。　（育成会１年生保護者　佐藤 真理）

前橋まつり

１０月８日と９日に前橋まつりがありました。僕は６年生なので、絶対に前橋まつりをせいこうさせたいと思っていました。南町一丁目の集合場所では、大勢の人が前橋まつりをより楽しくするために山車やもぎ店の準備をしてくれました。こんな最高の環境の中でおはやしができることを僕は感謝したいとおもいます。

おはやしは町内パレードと町パレードの二つに行きました。町内は低学年、町では高学年中心でやりました。失敗せずにできたので、思わずうれしくなりました。でも、たくさん歩いて、正直言ってすごくつかれました。

二日目は、学校の鼓笛パレードに行きました。今まで学校でたくさん練習したので、成功する自信で満ちあふれていました。桃井小が演奏する曲は「校歌、ダイヤモンド、ありがとう」です。「ありがとう」は、いいメロディーなので一番好きな曲です。待っている間はすごくきんちょうしました。僕が、パレードで心がけたのは、一生けん命演奏して見ている人をげんきづけたいということです。みんなでちからを合わせ、とてもうまくできました。

パレードが終わって、山車と合流しないといけなかったのでいそがしかったです。二日目の町のパレードは、一日目の時よりも山車のかずが多くてびっくりしました。おはやしを終えて、最後に６年生から前橋まつりの感想を言いました。楽しく前橋まつりができたのは町内の方や保護者の方のおかげなので感謝したいと思います。最後の前橋まつりは決して忘れることのない最高の思い出になりました。　（６年　松本 光太郎）

楽しかったお祭り

お囃子の練習に参加して２年目になりました。去年より上手にたたけたと思います。今年は大ども覚えました。でも女子はたたけないので残念です。練習で男子がたたいている時にまねをしました。まねだけでもうでがつかれました。

今年はとても天気が良く、あたたかくてうれしかったです。でも、前日の遠足のつかれが残っていてカゼをひいてしまい、２日目は熱で参加できませんでした。

毎年の楽しみは、パレードの時に出てくるメンチカツやジュースです。とてもおいしいので元気になります。街中へのパレードは遠いので大変です。でも、競演で他の町の友達に会って遊んだり、時間があるとお祭りにも行けるのでうれしいです。もう一つの楽しみは抽選券です。いつも４等でしたが、今年は初めて３等のみそが当たりました。お母さんが喜んで「よくやった！」とほめてくれました。うれしかったです。

今年は笛をもらいました。私はまだ高い音が出ません。息も続きません。頭がクラクラしてきます。とても難しいので練習もあまりしなくなりました。来年は５年生です。太鼓も鐘も笛も練習してもっと上手になりたいです。　（４年　弓場 帆乃果）

たのしかったおまつり

「テケテン、テケテン、テケツクテン」。ことしも前ばしまつりのきせつになりました。

一年生の時はつなを引くだけだったので、来年は自分も山車にのってたいこをたたきたいと思いました。お兄さん、お姉さんがたいこをたたいているすがたがとてもかっこよかったからです。

たいこのれんしゅうではバチを回すところがむずかしかったけれど、なる年会のおじさんたちがやさしく教えてくれました。たいこやかねがどんどん上手にたたけるようになり、外のれんしゅうがはじまりました。はじめて山車にのるときはドキドキしました。れんしゅうのときは山車がうごかなかったけれど本ばんはそうぞうしたよりもガタンとゆれたのでびっくりしました。町内では山車を見に来る人の前できんちょうしたけれど、どうどうとがんばってたたくことが出きました。まち中へ出ぱつするときは明かりがぱっとつき、南町の山車がかがやいて見えました。みりょくてきな山車があつまって音がくをきそいあい、にぎやかでした。きんちょうやつかれでねむくなりました。おなかをすかせてかえったらハムカツとコロッケが用いしてありました。わたしのコロッケはおいしかったです。それからまた町内をまわり、長い一日がおわりました。足がいたかったけれど、とても思い出にのこるおまつりになりました。　（２年　作道 みさき）

南町一丁目祭りに参加して

今年度から組長を命ぜられたことで、お祭りの［運営委員］に指名されました。初めてのことで何をやったらよいのか解りませんが、とにかく参加して皆さんの指示に従っていれば何とかなろうと、また、力のある若い人たちが中心になって進めてくれるだろうからと気楽に考えていました。ところが、祭りの前日に、大風が吹いてせっかく準備したテントのうち２張りが隣の畑に飛ばされたので集まってくれとの話が来ました。力のある若い人たちは仕事に出ていて皆さん留守ということで、集まったのは寿会の人ばかり。広場に行ってみると大きなテント２張りが紐で連結されたまま隣の畑に仰向けに引っくり返っています。とにかくばらさなければ運べないので、屋根布を外し、支柱を解体し１本ずつ収容しました。翌朝張り直そうということで解散し、翌日早めに広場へ行くともう元通りになっていました。さすがに若い人たちの仕事は早いと感心しました。

祭り当日は、街中まで山車のお供で出張りましたが、暫くぶりに舗装道路を長距離歩いたせいか疲れました。２日目は勘弁してもらおうと思っていましたが、また付き合えということで行きましたが、帰ってきてから町内を回る元気はありませんでした。ごめんなさい。

（４組組長　藤井 久隆）

支え合いのすばらしさ

１０月８日、９日、秋晴れのおだやかな天候にめぐまれました。

３月１１日の東日本大震災で各地の祭りやイベントが中止される中、前橋まつりは、例年通り開催されたこと、本当によかったと思います。被災された方々には、何と言っていいのか言葉もみつからない程ですが、自分達に何かお手伝いは出来ないものかと、それぞれの方法で支援活動をされたことと思います。日本中の人達が力を合わせて何かをしなくてはと思ったことでしょう。そんな時に開催された南町一丁目まつりで、人と人とのつながり、支え合いのすばらしさを育成会のお母さん方の姿から教えられました。夏の暑さの中、一生懸命練習したマーチング、その晴れ姿を５、６年生全員のお母さんに見ていただきたいとの育成会長さんの心づかいで、テントに残る私たちが模擬店の留守を頼まれており、そのつもりでおりました。けれども、テントには、数人ずつ育成会のＯＢの方々が待機しており、私達自治会や寿会の出番は必要ありませんでした。

私は、以前から、いろんな行事を通して、南町一丁目の育成会のお母さん達のチームワークのよさには感心しておりましたが、こんな大災害の後だけに、人と人との絆やつながりの大切さが身にしみました。地域の人たちが、仲良く支え合って、楽しめる南町一丁目まつりが、こらからも長く続くといいなって思いました。

（民生委員　庭野 初代）

南一寿会　秋季研修日帰りの旅　平成２３年９月１６日（金）

長寿祈願（東京都調布市・神代植物園・深大寺）

今年は春季の研修旅行が東日本大震災の影響で中止になり秋の１回だけになってしまい、皆とても楽しみにしていました。

今年は残暑が事の他暑く参加者が集まるか心配をしていましたが、そんな心配は無用で 23 名もの参加者で、車内は賑やかになり、天気も雲が太陽を時々隠してくれて、それ程暑くも無く、関越道は順調に突っ走りました、しかし練馬インターで環八道に入り少し進んだ辺りから、のろのろ運転が始まりました。群馬ではあまり考えられない、渋滞の経験でした、それでも 30 分遅れで、トイレの心配も無く、12 時には神代植物園に到着、愚然に本日 65 歳以上入場料無料の案内板で一同驚きと大喜びで園内を（狩野副会長）の黄色の旗を目印に１時間ばかりを散策しました。お腹も空いたところで、予約してあった谷田部茶屋で、名物の「深大寺そば」でお腹を満たして、今度は東京では２番目の古刹深大寺を参拝一同そこで、記念撮影「ハイポーズ」そして、付近を時間まで散策して、研修終了・おみやげを買って帰りのバスに乗り込みました。帰路はオール高速道でトンネル数当クイズに皆、一喜一憂、６名の方がピッたり賞で、当たった人全員に景品を大盤振る舞い。狭山パーキングで休憩して、関越道をひた走り、埼玉の花園 IN を過ぎた辺りで、他社の単独事故に巻き込まれて、やはり帰りも 30 分ばかり到着が遅れましたが、日典さんの松田運転手さんは若くても、ハンドル捌きが上手で、安心して乗って居られました。

長距離暑い中そして、首都圏を松田さんには、大変ご苦労様でした、皆さんもお疲れ様でした。次回は近県を、考えたいと思いますので、体調を維持して是非又お参加出来ますようお自愛の程。

（今井 積雄）

敬老祝賀会、なごやかに

町内の敬老祝賀会が、９月１９日、約６０名の参加のもと第一集会所で開催され、出席者の長寿をねぎらいました。南町一丁目では、７５歳以上の方が１０９人（前年１００人）で、町内の最高齢は男性１０１歳、女性９８歳です。長寿の秘訣は「よく食べ、運動すること」とのこと。

祝賀会では、自治会長より「食事、睡眠、運動に気をつけて、ますますのご活躍と長寿を心からお祈り申し上げます。本日はおめでとうございます」とお祝いのあいさつがありました。そして、寿会会長の今井さんからは「本日はこのような会を開催していただき、ありがとうございます。寿会からは３３名の方が出席されています。これからも元気で、町内の諸行事に参加協力してゆきたいと思いますのでよろしくお願いします。７０歳になったら腹７分、８０歳の方は腹６分というのがよろしいようです。元気で頑張りましょう」との言葉をいただきました。

式典後、参加者はお弁当を食べながらの歓談やビンゴゲームなどで、楽しいひと時を過ごしました。また、育成会の子供たち２３名による合唱（「静かな湖畔」、「ふるさと」）や、育成会･成年会の皆さんの手によるケンチン汁のもてなしに終始ご満悦の様子でした。

平成２３年度 第２回南部地区グラウンドゴルフ大会

秋晴れの南町グランドで

１０月２９日（土）、第２回南部地区グラウンドゴルフ大会が、秋日和の南町グラウンドで開催されました。南部６地区の選手７２名（一地区１２名）と体育推進委員などの役員約３０名の参加者による開会式。会長の「和気藹々と親睦を深めて下さい」との挨拶のあと試合が始まりました。

南町一丁目は、（Ａチーム）１組に田島、今井、角田選手、２組に藤井、土屋、遊佐選手、（Ｂチーム）１組に北爪、井上（諒）、佐藤選手、２組に辺見、福島、井上（邦）選手です。始めのグラウンドで１試合８ホールの「トマリ」（できるだけ少ない回数でホールポストに入れること）を競い、休憩後グラウンドを変えてもう１試合８ホールを行いました。雲一つ無い秋晴れの空の下、桜の薄紅葉に囲まれたグラウンドに、カーン、カーンというボールを打つ快い音が響きます。

ホームグラウンドの南町二丁目が優勝しましたが、井上（諒）、遊佐、福島選手がホールインワン賞を獲得、遊佐選手が１試合目１７打、藤井選手が１９打と大健闘。また、三宅さん、桑原さんが集計、運営係としてお手伝いいただきました。選手、役員の皆さん本当にご苦労様でした。

敬老祝賀会の様子

第１回 町内組別対抗、三世代交流グラウンドゴルフ大会

冬麗の南一河川敷公園で

１１月２０日（日）、第１回町内組別対抗・三世代交流グラウンドゴルフ大会が、薄紅葉の南町一丁目河川敷公園で開催されました。自治会長挨拶、役員の競技説明のあと試合が開始され、１組～７組までの代表に育成会チームを加えた８チームが、うららかな冬日和の中で約２時間の熱戦を繰り広げました。成年会、組長、育成会の方が役員として用具の調達、集計、競技の進行など運営係としてお手伝いいただきました。選手、役員の皆さん本当にご苦労様でした。

競技は、それぞれのチームが大人４名と子ども２名から成り、８番ホール２回戦の合計打点を競いました。競技結果は次の通りです。(敬称略)

◎個人の部

（子供）

順位	氏　名	打数
１	松永 厚紀	５２
２	大森 理沙	５３
３	栗原 利美	５７
４	荒川 真由	５９
５	岩野 三重子	６４
５	川田 桃菜	６４

（大人）

順位	氏　名	打数
１	井上 邦江	４０
２	北爪 尚夫	４１
３	真柄 悦二	４４
４	田島 健司	４４
５	佐藤 修治	４５

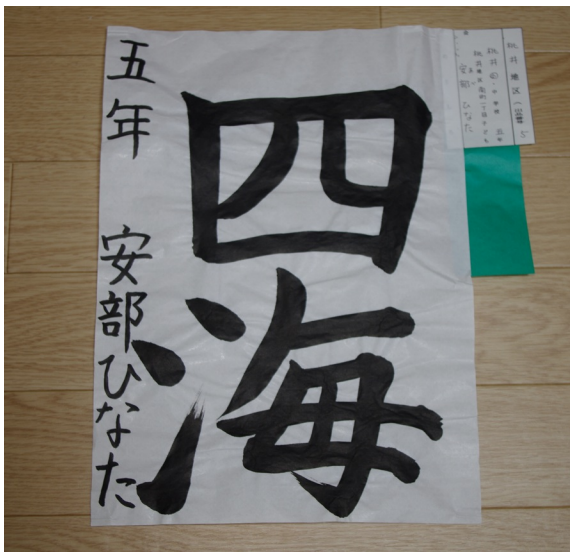
◎団体の部　１位 ３組（１８１打）、　２位 ４組（１８６打）、　３位 ２組（１８７打）

☆ホールインワン賞　川田 秀明（２回）、　庭野 俊、　真柄 悦二

☆上手いで賞　真柄 悦二（１７打）、　井上 邦江（１９打）、　庭野 俊（１９打）

前橋市子ども会育成団体連絡協議会の書道絵画展受賞について

前橋市子ども会育成団体連絡協議会の書道絵画展が総合福祉会館において１１月１５～２０日に開催されました。全体では合計約４４００点の応募がありました。南町１丁目は、書道と絵画で７点出品し、２名の入賞が決まりました。絵画で６年生の大森理紗さんが金賞、書道で５年生の安倍ひなたさんが佳作賞を受賞しました。力作ぞろいの中から受賞出来たことは、大変喜ばしく光栄に思います。後日、第一集会所に入賞作品を展示させていただきますので、皆さま是非ご覧ください。（桃井地区子ども会育成団体連絡協議会会長　川田 悦子）



私がこの絵を作ろうと思った理由は、まず楽しそうだったからです。新聞紙で作った理由は、いつも目にする身近な物で作ることでおもしろい絵が出来ると思ったからです。新聞紙をちぎって見た時、ウロコのような形をしていたので、魚を作ることにしました。

なによりこの絵で良かった事は、楽しくできたことです。今度は、魚いがいの絵を描いてみたいです。　（絵画 金賞　６年　大森 理紗）

私は、習字がとても好きです。だから私は今回の書道展で佳作をいただけて、とてもうれしかったです。１年生から習っていた書道は、だんだん書く字がむずかしくなり、書くのが大変になりました。でも、この受賞をいただけたのは、今まで練習してきたおかげだと思うので、練習を一生けん命してきて、良かったです。これからは、今まで以上に練習をして、もっと字が上手に書けるようになるために、がんばりたいです。　（書道 佳作賞　５年　安倍 ひなた）

スコアはともかく…楽しく

「南町一丁目にもゴルフクラブを！」という数名の有志の声がかりでゴルフクラブが立ち上げられたのが平成２０年。以来、年間４回～５回のコンペを開催。今年９月に行ったコンペで１４回を数えます。ゴルフのスコアは良いに越したことはありませんが、スコア以上に会員のみなさんとのコミュニケーションを図ることをモットーに楽しくやっています。腕前は関係ありません。ちなみにハンディ１から４５までの会員の集まりです。なかには肩が痛い人も、腰が痛い人もいます。

私も技術向上に燃えていた当時は、雨にも負けず、猛暑にも、吹雪にもめげずにゴルフをしていましたが、年を重ね、今現在は身体をいたわりつつ長く続けることを目標に、笑顔を絶やさず、夕刻からの「丸登」での反省会を楽しみにやっています。

９月１１日のコンペは、唐松やナラ、クヌギ等でセパレートされた林間コースの趣が濃いノーザンカントリークラブ上毛ゴルフ場で、１０名の参加で行ないました。腕前はＡクラスからＤクラス（失礼）まで、和気あいあいとプレーし、1 日を大いに楽しむことが出来ました。

ゴルフ好きな方、運動不足の方、話がしたい方。若者から熟年の皆様、腕に自信が有っても無くても、どんどん参加して下さい。皆様の参加を心よりお待ちしております。

それにしても「ゴルフ」というスポーツは何て奥深いのでしょうか。競技であり、スポーツであり、社交であり、大いなる遊びです。なお要望の多いゴルフ場を順次回ってプレーしています。多くの自然が残る、緑豊かで空気の旨いコースを楽しみにしています。（参加希望の方は、真柄、庭野までご一報下さい）。

（ゴルフクラブ会長　真柄 悦二）

南町一丁目祭り写真展のご案内

すでに回覧板等でもお知らせいたしましたが、つぎの通り、南町一丁目祭り（前橋まつり協賛）写真展を開催いたします。皆さんお誘い合わせの上、お出かけ下さい。

日　時　：　平成２３年１２月１８日（日）９時～１５時

場　所　：　南町一丁目第一集会所（通路に展示します）

その他　：　当日は同所にて町内餅つき大会も開催しています。

行事計画（平成２３年１２月～２４年３月）

	行　事　等	関　係　団　体
１２月	愛護会役員公園清掃（4日）	１号公園愛護会
	上毛かるた練習（8～22日）	育成会
	南一いきいきサロン（10日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会
	「南町一丁目だより」発行（16号）	編集委員
	廃品回収（18日）	育成会
	餅つき大会（18日）	成年会、寿会、育成会
	生け花講習（生涯学習）（28日）	生涯学習奨励員
１月	南一いきいきサロン（10日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会
	上毛かるた練習（10～13日）	育成会
	桃井地区上毛かるた大会（15日）	育成会、体育推進委員
２月	南一いきいきサロン（10日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会
	味噌造り講習会（生涯学習）（中旬）	生涯学習奨励員
	廃品回収（19日）	育成会
３月	南一いきいきサロン（10日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会
	桃井地区グラウンドゴルフ大会（25日）	体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会
	寿会日帰り研修視察（中旬）	寿会

編集後記

今年は、東日本大震災という未曾有の災害にみまわれ、町内行事を計画通り行なうことに少なからずためらいがありました。が、こうして町内だよりを読み返してみると、一人一人がそれぞれの持ち場で精一杯努力することが何よりも大切であると感じます。町内の皆さんのご活躍に心より敬意を表します。

（編集委員／生涯学習奨励員　福島 勝男）

あの大震災から９ヶ月の時間が過ぎました。住宅や産業の復興、行方不明者の捜索、がれき処理など、解決すべき問題がまだまだ山積しています。偶数号恒例の「お祭り特集」ですが、地域社会のあり方についても考えさせられました。

http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/　　（編集委員　谷中 勝）